

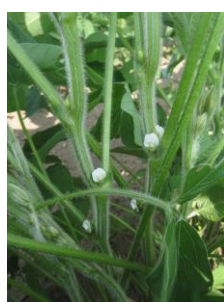
機械を利用した在来大豆の 秋エダマメ省力生産技術

エダマメは夏を中心に食べられていますが、近年、秋の需要も高まりつつあります。そこで、秋にエダマメを収穫できる在来大豆の中から優れた品種を選び、機械を利用した省力生産技術を開発しました。

品種は食味に優れ、機械収穫に適した「行田在来」または「アオバタ」を使用します。播種適期は、行田在来が7月上旬、アオバタが7月中旬です。株間18cmで1か所に2粒ずつ播きます。収穫は「開花期後50日」を目安に、茎の上部にある一番大きな莢の厚さが9mmとなったら開始します。収穫期間は7~10日程度です。



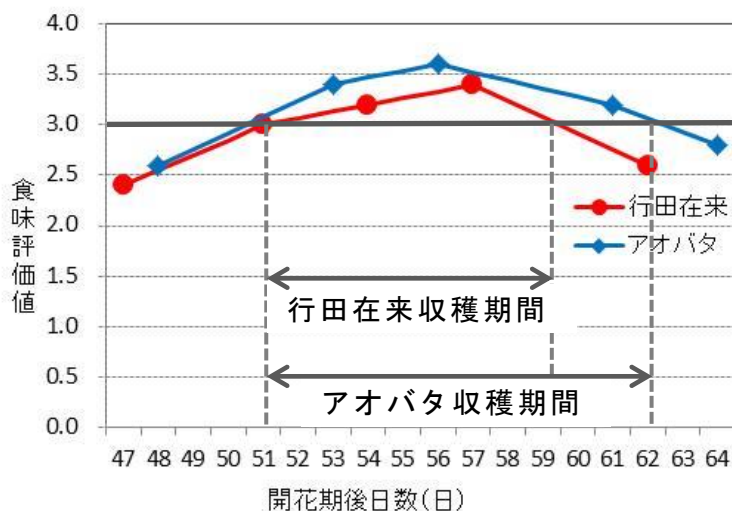
畝立て同時播種機により省力播種



① 開花期後
50日を目安



② 茎上部の最大莢の厚さ9mm
で収穫開始



さやもぎ収穫機による収穫作業

(園芸研究所 露地野菜担当 TEL 049-285-2206)